

令和 2年度予算見積調書

課室名：農産物安全課
 担当名：安全生産・有機担当
 内線：4057 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B26	埼玉スマートGAP推進事業			一般会計	農林水産業費	農業費	農業経営普及費	安全安心農産物確保対策費		
事業期間	平成26年度～ 令和 2年度	根拠法令	なし				宣言項目	09	儲かる農業の推進	
							分野施策	020413	食の安全・安心の確保	
1 事業の概要 県産農産物の安全に対する信頼性の向上を図るため、県独自のGAP（S-GAP）の仕様改定を行い、担い手の拡大を推進する。 (1) GAP普及事業 6,288千円 (2) 流通・加工業者等認知度向上事業 1,572千円 (3) S-GAPアップデート事業 1,423千円 (4) S-GAP評価事業 4,005千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア GAP普及事業 S-GAP普及のため、農業者への推進ときめ細やかな指導を行う。 6,288千円 ・GAP情報交換会、地区説明会の開催 ・S-GAP指導者による農場指導 イ 流通・加工業者等認知度向上事業 GAP農産物の需要拡大が見込まれる流通・加工業者等のS-GAPの認知度向上を図る。 1,572千円 ウ S-GAPアップデート事業 S-GAP仕様の改定を行う。 1,423千円 (ア) S-GAP検討委員会の開催 (3回、委員11名) (イ) S-GAP実務者会議の開催 (計3回) エ S-GAP評価事業 4,005千円 農場評価により、S-GAP実践農場を認証する。 (ア) S-GAP評価制度の運用と評価員・点検者の養成 (イ) S-GAP評価支援システムによる、S-GAP実践農場の認証 ・S-GAP評価員による農場評価、S-GAP点検者による評価点検						
2 事業主体及び負担区分 (国10/10、県10/10) ア (県10/10) イ、ウ、エ				(2) 事業計画 S-GAPの普及、S-GAPの仕様改定、S-GAP評価及び実践農場認証 【目標】年間400戸の農場認証を行う。(5年間で1,600戸の認証)						
3 地方財政措置の状況 なし				(3) 事業効果 GAP普及率が上昇することにより、県産農産物の安全性を向上する。						
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.6人=24,700千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	前年との 対比
		国庫支出金								
決定額	13,288	2,030						11,258	△3,476	
前年額	16,764	5,506						11,258		